



Higashimurayama City International Friendship Association

東村山市国際友好協会 第108号

会費納入御礼

当協会の活動にご理解とご協力を頂き、多くの賛助会員・会員の皆様から会費の納入を頂きました。誠にありがとうございました。（会員拡充委員会）

賛助会員さま（順不同・敬称略）

（社）東村山市医師会、（社）東村山市歯科医師会、（社）東村山市薬剤師会、東京東村山ロータリークラブ、（株）三光商会、（株）いなげや東村山秋津店、関梅四郎、（有）當間石材店、角田孝司、鈴木新吉、志村治男、川合萬次郎、丸山キミ、（有）小町総業、熊木令次、長坂式典センター、（株）あさひや、武蔵野労務管理事務所、石黒文夫、桜井喜吉、（有）一翠、東村山ファーマシー、川島玉三、（有）あおき印刷、細淵一男、市川正史、（株）千代田防災、澤田泉、當間義夫、東村山青年会議所、東村山青年会議所シニアクラブ、木島安明、（株）いなげや東村山市役所前店、大野茂、（株）ポールストア、割烹「義」、東村山中央ライオンズクラブ、（株）ふいっしゅいんてりあ、むさしの幼稚園・野沢秀夫、木下孝男、エネックス（株）、山崎製パン（株）埼玉第二東村山工場、石津智子、J A 東京みらい東村山支店、けやき調剤薬局、東光建設（株）、折笠歯科医院、（福）東京コロニー



6月来日のイ市訪問団と
いっしょに



幌馬車に乗って



大リーグ観戦



裁判所にて

第32回学生派遣団
生の英語にたっぷり浸って
グローバルな視点で、さらにステップアップ

東村山市の引率者1名と学生10名が
8月5日から2週間姉妹都市の米国ミズーリ州
インディペンデンス市の家庭にホームステイしました。



国連平和プラザにて

新鮮な体験の日々

学生リーダー 高島瑞歩

第32回学生派遣団と ホストファミリー

引率	団員名	ホストファミリー
1	川名 理恵	Eric&Bonnie Wagner
2	安部 証人	Paul&Debbie Culver
3	瓜生 春	Belinda Jones
4	河瀬道太郎	Mike&LeeAnn Mader
5	小嶋野乃香	Lisa Diehl
6	高島 瑞歩	Scott&Heather Hotson
7	高橋 花	Dan&Dana Jeffries
8	對馬 梓	Gary&Kathy Moxley
9	西山 実玲	Robert&Tina Saulsbury
10	松井 璃生	Ric&Amanda Bradford
	松木 菜摘	Craig&Rhonda McArthur

た2週間でした。

私はこの訪問を通じて物事の見方や意識が変わりました。またアメリカは大きく、国際的であることを知りました。

そして、ホストファミリーやイ市の方々との交流を通じて視野をよりグローバルに広げ、様々な活動に意欲的に取り組み、更なるステップへ自分を高めていくことの重要性を学びました。これを契機に学生が国際交流に興味を深め情報を発信し、東村山市に国際交流の輪がより大きくなればと強く思いました。

終わりに、団長及び団員、今回の訪問にご尽力された国際友好協会の皆様、そして支援してくれた家族にあらためて謝意を伝えたいと思います。ありがとうございました。

当協会の会員を募集しています

当協会の姉妹都市交流のボランティア活動を支援して下さる方を募っています。ご協力いただける方はぜひご連絡ください。

年会費 一般会員2千円、学生会員千円、賛助会員1口1万円

問合せ先 東村山市役所内 東村山市国際友好協会 TEL042-393-5111内線2552・2553

英会話後期講座スタート

当協会主催の今年度後期英会話講座は、10月7日（水）に開講式を行い、3月9日（水）までの毎週水曜日、4クラス90名でスタートしました。

前期英会話講座では、受講者98名の内修了者は80名（その内18名が皆勤者）でした。

成長した自信を胸に 堂々とした帰国報告会

8月27日（木）18時より、市民センターにて第32回学生派遣団の解団式・帰国報告会が開催されました。解団式では岩瀬会長、渡部市長、肥沼議長、挨拶と来賓の紹介がありました。引き続き派遣団員10名と引率者による帰国報告が行われました。

報告内容を一部紹介します。

○将来小学校教諭になること。その想いがもっと強くなった

○時間の経過と共に会話やリスニングができた

○警察署で銃に触れ、裁判所では裁判官の席に座り写真を撮った。日本では出来ないこと

○米国人は意外と肉を食べず、

野菜中心で痩せていた。自分の頭の中に英語の領域ができ、話せるようになった。充電器や水泳パンツを忘れたことは失敗だが、楽しかった。高校の校内にカフェテリアがあり、自由な校風に感動。互いを認め合う文化は日本にはない。英語を頑張ろう。

○アメリカのスケールに驚いた

○ボート遊びは楽しかった

最後に引率者の川名理恵氏より、派遣中のエピソードやスライドによる報告がありました。



充実した帰国報告会



藤根ファミリーとサマー（中央）

① 募集

- ・1月の市報に掲載
- ・東村山市国際友好協会HP/広報紙に掲載
- ・駅、公民館などにポスターを配布（2015年）

※条件

- ・市内在住で、期間中訪問団員に1部屋提供できる方
 - ・歓迎行事時などに家族のどなたかが参加できる方
 - ・基本的に市役所などの集合場所へ送迎できる方
- ★もし、急な用事で送迎ができない場合でも、協会が代行してサポートします

我が家は9年間で3人の学生を受け入れました。部屋の準備や時間のやりくり等心配要素もありましたが、2週間のステイはあっという間に過ぎて行きます。一生忘れられない濃密な時間です。9年前我が家にステイしたジョシュとの交流は今でも続き、息子二人はその後イ市を訪れ彼の家にステイしました。去年来たニックと次男との絆も深く一生続いて行く事と思います。今でもニックが帰国前に言った一言が忘れられません。「友達にフランスでホームステイした時、2週間で家族になれたと言ってたけど、そんなのまるで

我が家は9年間で3人の学生を受け入れました。部屋の準備や時間のやりくり等心配要素もありましたが、2週間のステイはあっという間に過ぎて行きます。一生忘れられない濃密な時間です。9年前我が家にステイしたジョシュとの交流は今でも続き、息子二人はその後イ市を訪れ彼の家にステイしました。去年来たニックと次男との絆も深く一生続いて行く事と思います。今でもニックが帰国前に言った一言が忘れられません。「友達にフランスでホームステイした時、2週間で家族になれたと言ってたけど、そんなのまるで

一生の家族

市原 麻子

当協会が米国学生や大人を受け入れた当初とは環境が大きく変わってきました。会話本や電子辞書が必須の時代から大きく進化し、携帯の会話アプリの利用で小さなお子さんでも意志の疎通が可能になりました。

ホストファミリー体験談

⑤ ホストファミリーの参加行事例

- ・ウェルカムセレモニー
- ・ウェルカムパーティー
- ・ホストファミリー懇談会
- ・市長主催のランチ

★ディズニelandへ2名ご招待（訪問団員との参加行事）

⑥ 訪問団員帰国

市役所から送迎バスが出ます。



谷口ファミリーとティアナレクサ（中央）

ティアナレクサはすぐ家族の一員になった感じで、家庭では笑いが絶えませんでした。今もSNSで連絡をとりあっていて

この大役を引き受けるきっかけは、一年前から飼いはじめた我が家の犬です。犬の散歩で仲良くなったいわゆる「犬友」その方から勧められたのです。不安だった言葉の壁は、文明の利器が解決してくれました。スマートフォンの通訳アプリです。これで何とかなることを知ってしまいました。

初めてのホストファミリー

谷口 昌代



市原ファミリーとニック（後列右）

信じてなかった。でも日本に来て僕に実際にそれが起こったんだ！

花みずきコーナー

8月11日、インディペンデンス市の地方紙「EXAMINER」にイ市在住の日本人女性3人が紹介されました。3人はいずれも米軍人と結婚してイ市に住んだ方々で、なかでもラーナ・ホワイトさん（写真左）とロージー・スミスさん（写真右）は当市との姉妹都市交流に深くかかわっている方です。ラーナさんは姉妹都市締結の最初から通訳として活躍され、ロージーさんは訪問団の歓迎パーティーなどの際に料理を作りもてなしてくださいました。

記事の中では戦後70年を振り返って特に「NAGASAKI」に焦点を当てています。なぜなら、ラーナさんは長崎に落とされた原爆の最初の標的だった小倉に住んでいた一方、ミチコ・ジュン（写真中央の右）さんは長崎で被爆したからです。

イ市では8月9日（日）に「NAGASAKI」で犠牲になった方々を慰霊するため「国連平和プラザ」で記念植樹が行われ、イ市のアイリーン・ウエアー市長が長崎市の田上富久市長のメッセージ「我が国が受けた苦しみを他の誰にも味あわせるべきではない」を読み上げました。



お知らせ

◆市民産業まつり

11月14日（土）・15日（日）に、『第54回東村山市市民産業まつり』が開催されます。当協会も出店し、国際交流コーナーでコイン入り焼そばとコーヒーを販売します。

◆クリスマスコンサート（無料）

12月12日（土）18時40分よりサンパルネで会員に向けてのジャズコンサートが開催されます。

◆交流室フェスタ

東村山市民の国際交流を目的とした「交流室フェスタ」が開催されます。11月19日（木）（14時～16時）交流室（中央図書館裏）

編集後記

今年度の両市相互訪問が終わり、双方の学生たちは実り多い体験ができました。今号ではホストファミリーについてまとめてみました。思いきって一緒に参加してみませんか。

人と人

発行：東村山市国際友好協会

編集：広報委員会

東村山市本町 1-2-3

東村山市役所内

☎393-5111 内線2552・2553

http://www.h-ifa.com/